

下宿

させてる

姪

の青春

壊して、

いつでも

使える

便器

セフレ

都合の良い

にした話。

フルカラー
本編45P。

よろしくお願いしますね、

おじさん！

彼女の名前は白崎彩奈。

僕の遠縁の姪にあたる。

進学に際し僕が管理している

親族の家で一人暮らしを

する事になった。

いわば僕はその後見人という訳だ。

家事でも何でも

手伝わせてくださいね。





三日三晩犯し尽くした。

レレ...

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

レレ...

レレ...

おっおっ...

つたく。連休だからって
スケベな牝臭
撒き散らしやがって。

年甲斐も無く滅茶苦茶出たわ。

やめ...あつ♡

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ





ほくら記念撮影しとかねえとなあ
透クンと本番の時に
参考にしねえと駄目だろ、ギャハハ。



おら、とつとカメラに
向かって詫び入れろや。
雌の分際で毎日エロ肉揺らして
誘惑してごめんなさいってな

め：雌の分際でエロ肉揺らして
誘惑してごめんなさい…っ

うっわ、マジで言いやがったw





彩菜のメス汁たくさん

マーキングしておきました♥

おじ様のおチンポ

彩菜のパンツにいっぱい

擦り付けて下さいい…♥

いふん

ほら、買ってくれるおっさんに
画面に向かつてお礼言えよ。

おね。

ハミマンモエツロ。
じゃあ一日履きっぱなしの

スケベ下着、近所のおっさんに
言い値で売りつけっから。

生まれて初めてのチンポと

夜の玩具の味に脳を焼かれたのか、

許して欲しいと懇願されたので

二穴責めして学校に行かせた。

咥え込んだまま登下校を行ったあと、授業中に絶頂の禁止。

おっぱい

ズン

何度も声を殺して学校で

イキ散らかしたらしいので、お望み通りに一晩中お仕置きした。

そのあと数回、姪を放置して仕事をしていると
夜中に無人の筈の一階から喘ぎ声が聞こえてきた。

覗いてみると姪が一人で自分を慰めていたので
お望み通り極太チンポをぶっ刺すと
豚のような嬌声をあげてメスイキした。







あ、彩菜ちゃん
こんにちは。

えっ…どうして…？

いやあ学園長が彩菜ちゃんの
脱ぎ立てパンツのリピーターらしくてさあ。
世間って狭いよねえ。

これからはいっぱい
学園でもセックスできるねえ。

そ…そんな…。

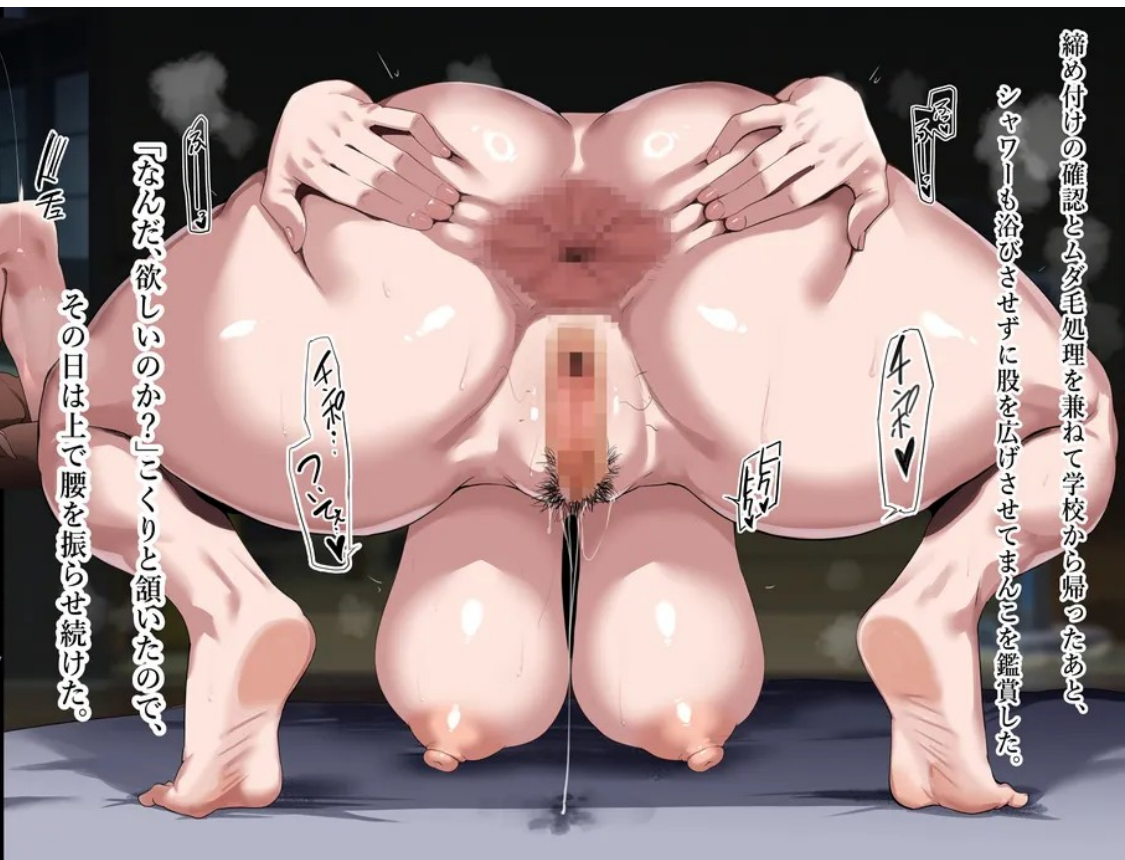






締め付けの確認とムダ毛処理を兼ねて学校から帰ったあと、
シャワーも浴びさせずに股を広げさせてまんこを鑑賞した。

「なんだ、欲しいのか？」こくりと頷いたので
その日は上で腰を振らせ続けた。



「はい、また来ちゃいました…。」

今夜も彩奈のはしたないおまんこ、
いっぱいいっぱいお使いください。」

姪の栄養管理ということで
毎日々飯を作らせている。
姪が帰るのは決まって深夜か朝方。
最近では姪の着替えや歯ブラシが洗面台に増えた。





「いえーいA菜です。」

今日も私と叔父さんのハメ撮り見て、
いっぱいシコシコしてくださいね♥」

戯れでネットに上げた姪との

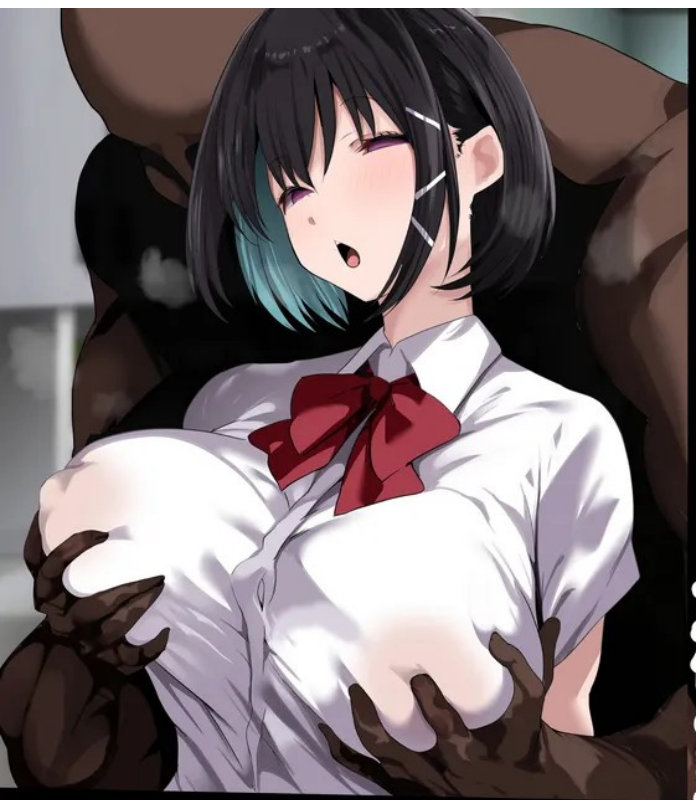
セックス動画が大バズりしたので広告収入を元手に

ネットAV女優としてデビューさせた。



スパチャの度に絶頂するライブ配信が拡散され、

姪は配信中にイキ散らかしながら出産した。

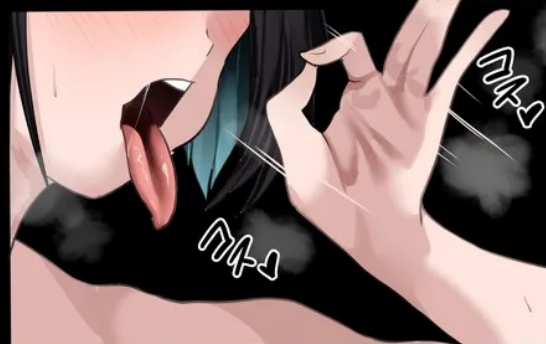


娘の変化に気付いたのは、
夏休みを過ぎた頃でした…。



『みんな来てくれてありがとう。
スパチャしてくれたお友達には
A菜の染み付きパンツ送るね♡』

画面に映ったのは
目を背けたくなるような娘の痴態。
そして男達の欲望に塗れたコメントでした。





けどお母さんごめん、
おじさんのおチンポ
すっごく気持ちいいの♡

んあ♡

お♡



あ、見つかった…♡

夫よりも大きなベニスに跨り
雌としての優越感に浸る娘に
私は咄嗟に言葉が出ませんでした。

部屋に踏み込んだ私に対して
罪悪感など欠片も無い娘の言葉。



みてみて、おじさんにマッサージされて、
おっぱいもっと大きくなっちゃった♡

む

あ



あ、お母さん
おかえりなさい。

まるで世間話でもするかのような娘の振る舞い。
私が動くならここしかない、そう確信しました。



私は衣服を脱ぎ捨て、
義兄に傳くと床に手を付き懇願しました。

無我夢中でした。この獣から娘を守らなくてはならない……



「お願いします……。私の身体は好きにして
いただいて構いませんので、どうか娘にこれ以上は……」

圧倒的でした。

夫のモノなど問題に
ならない程のサイズのペニス。

私は無様にチン負けアクメを晒しながら、
媚び諂うように義兄のペニスをねだりました。









ごめんなさいアナタ。
今日もパート先の残業で...

夫に嘘をつき、今日も知らない
男の人のペニスを舐めに行きます...

A菜ちゃんママという名前で
認知された私は瞬く間に話題となり、
是非私を抱きたいと
大金を積む男の人まで現れました。

む

おお

「へエ、お姉さんがA菜ちゃんのお母さんなんだ。今日は宜しく頼むよ。」
通された部屋では

下品な笑いを浮かべた男の人が沢山居ました。

中には町内会で見知った顔も。。

男の人たちは遠慮も無く私の身体を弄り、
好き勝手に射精を繰り返しました。







むわぁ

すっげー：こんな美人が
俺のチンポ見て又いて
くれるなんて…。

お、俺緊張してきた。

うわ、マジで
美人じゃないっスか
A菜ちゃんママ！

あ…ありがとう。







ママさんガチイキ
してんじゃん。

やつべ、マジで
チンポハメたくなってきた。

んほおおっ♡
しゅきっ♡チンポしゅきっ♡
生ハメだいしゅきっ♡
ママみんなのおチンポ
大好きなのお♡





それから私は
色んな男の人に犯されました。

そして…。



おら、さつさと
画面の前の旦那にご挨拶しろ。

貴方…ごめんなさい♡

貴方…ごめんなさい♡
このコ達のおチンポ
とっても気持ちよくってえ
私、このコ達のママに
なることにしたのお♡

